

2017年2月7日
道高教組教財部8号

支部長
各 書記長 様
分会長

北海道高等学校教職員組合連合会
中央執行委員長 國田 昌男

高校生の就職内定実態調査（卒業時）のお願い

毎日の奮闘ご苦労様です。

道高教組は全教の提起を受け、2016年度卒業時の就職内定状況と問題点を明らかにするため、標記の就職内定調査をおこないます。

北海道労働局は1月27日、12月末現在の高校生就職内定状況は「昨年（87.1%）を上回る88.2%で統計開始以来の最高値」と発表しました。しかし、この数値は「即戦力」が求められる求人環境下で低下してきた就職希望の減少を前提としたものですし、同じ労働局まとめて道内高校生の「3年離職率」は48.7%ときびしい労働環境を反映しています。高教組の10月末内定状況調査にも「希望職種の求人が足りない」などの声が寄せられています。7月に開催した「若者雇用集会」では、北海学園大学の川村雅則さんからアンケート結果などをもとにした若者雇用や学生アルバイトの現状についての報告があり、雇用環境の劣化が進むなか「労働教育の必要性」が語られました。道高教組として北海道・東北ブロックの「就職キャラバン」や経済団体・道・国の機関への要請、全道の高校3年生への「めざせ! Decent Work!!」配布、「過労死弁護団」出前講座などを行ってきましたが、今回の調査は、全道の就職内定状況・実態を把握し、高校生の修学・進路保障の運動に生かそうとするものです。各高校におかれましては、大変お忙しい時期ですが今年度も下記の要領により調査にご協力願います。

記

1. 調査の目的・内容

- (1) 卒業時点での就職内定状況と問題点を把握し、求人・内定取消し問題や就職難の実態を社会的に明らかにします。
- (2) 派遣・非正規雇用など不安定雇用求人と「進学・就職以外」進路（フリーターなど）の実態と問題点を明らかにします。
- (3) 男女差別・内定取り消しなど、募集と選考における企業の横暴や違法・違反行為を明らかにし、「就職ルール」を守るとりくみに生かします。

2. 調査の対象

今年度も全ての全日制高校（普通科・職業科）と定時制・通信制高校及び総合学科高校、障害児学校（高等部）を対象とします。

3. とりくみと集約

- (1) 男女別の就職希望者数と内定者数（1. の項目）と内定取消・求人取消の有無や件数（2. の項目）については、必ず回答して下さい。

（2）3月10日（金）までに調査票を道高教組本部へ送付してください。

*郵送、FAXまたはe-mailをお願いします。（調査用紙はホームページからダウンロード出来ます）

道高教組本部 FAX : 011-241-8510

e-mail : kokyoso@dokokyoso.jp